

今回は、公立中学校の英語教員をしながら、豊富な小学校での英語指導経験を生かし、隣接する小学校の外国語(英語)活動の支援もされている小・中学校の連携に真摯に取り組んでいるトレーナーからの実践報告です。

赤井晴子 さん



# J-SHINE 通信

2013年7月号

PEAs埼玉(埼玉県小学校英語研究会)  
J-SHINEトレーナー資格保持者  
公立中学校英語教員 小学校の外国語活動を支援

## ■ J-SHINE資格、トレーナー資格を取得したきっかけ

以前多民族国家シンガポールで暮らしていた時に英語は共通語であり生活言語であるということを経験しました。これは教科としての英語しか知らなかった私には大きなショックでした。帰国後、使える英語を子供たちに伝えたいと子供英語教室の講師になりました。指導を始めて間もなく、「小学校で英語を教える資格があるようだ」ということを知り、2004年に資格を取得しました。資格取得後すぐに特区として「英会話」を小学校に取り入れていた埼玉県南部の市の英会話講師として採用され、1年生から6年生まで、年間35時間の授業を、市独自のカリキュラムで担任の先生と私たち英会話講師のチームティーチングで行いました。しかし、この頃はまだ外国語活動が教育課程に入っておらず、英語の授業そのものに疑問を持たれている先生や、授業への関わり方に戸惑う先生が多くいらっしゃいました。そうした先生方をどう手助けすればよいのか悩んでいた時にJ-SHINEのトレーナー資格の存在を知りました。実は、トレーナー検定試験というものがどういうものかを全く知らずに受験したために3年もかかってしまいましたが、2009年ようやくトレーナー資格を取得出来ました。取得後すぐに十文字学園女子短期大学の小学校英語指導者養成講座講師の職を得、受講生の皆さんの真剣な気持ちに(トレーナーとして)どのように応えていかなければならないか、改めて考える機会を与えられ、大変勉強になりました。小学校の英語指導者として活動するためには教員免許は必ずしも必要ではないのですが、学校教育についての知識を深め、教員の立場を理解し、またより良い指導のために、と一念発起して小学校・中学校教員免許も取得しました。

小学校で先生方とのチームティーチングもうまく機能するようになった頃、中学校の教科としての英語にどのように繋げていったらよいのかを考えるようになりました。しかし小中学校間の連携というのは思った程易しくはありませんでした。そこで、今度は立場を変えて中学から小学校の外国語活動を見てみようと思い、同じ市内の中学校の英語加配教員として採用してもらいました。

## ■ 現在の活動状況

現在は異なる市内の中学2年生を教えながら、隣接する小学校で週1回5年生の外国語活動を支援しています。授業は小学校担任、中学校英語教員、中学校ALTの3人のチームティーチングです。“Hi, friends!”の指導書をベースに、さらに工夫を加え、児童も先生方も楽しく学べる外国語活動の支援をしていきたいと考えています。

J-SHINE 創立10周年記念事業の一つとして7月27日(土)にさいたま市で、昭和女子大学附属昭和小学校校長の小泉清裕先生をお招きして「埼玉フォローアップ研修講座」を長田・幡井両トレーナーと一緒に開催しました。大学で教える長田恵理トレーナー、私立小学校で教える幡井理恵トレーナー、そして公立小・中学校で教える私、と異なるフィールドで活動する3人がそれぞれの観点から小学校外国語活動を作りあげていこうと協力し合っています。私自身、お二人からたくさん学ばせていただいています。「埼玉フォローアップ研修講座」は8月にも予定していますので、以下のサイトをご参照いただければと思います。

埼玉フォローアップ研修講座  
[http://www.j-shine.org/files/saitama2\\_t.pdf](http://www.j-shine.org/files/saitama2_t.pdf)

## ■ 今後の展望、課題、目標

小学校外国語活動は学校教育の一部であり、一人一人の子供が育っていく成長の一過程でもあります。そこに関わっている者としての責任の大きさを実感しつつ、自分がその責任ある立場に見合う存在になれるよう日々の努力を重ねていきたいと思っています。

J-SHINE 創立10周年記念事業  
<http://www.j-shine.org/anniversary.html>